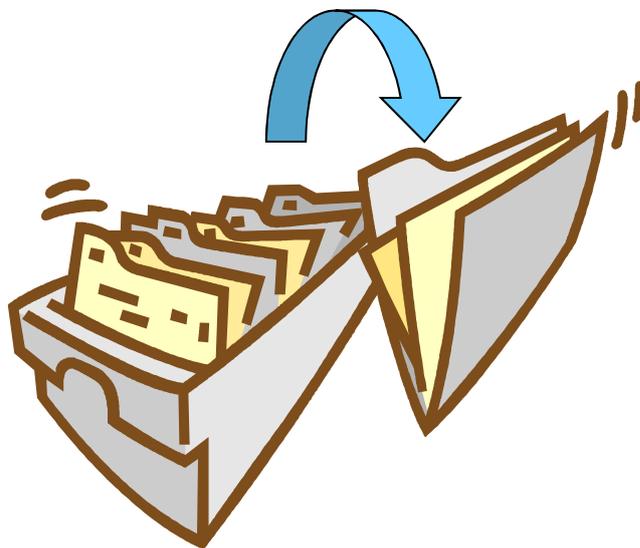


画像データモジュール+S

製造業向け 図面・画像管理ソフトウェア

Ver 7



(株) アマダ
(株) ケーブルソフトウェア

こんなお悩みはありませんか？

- 図面が山積みで受注のたびに図面を探している。
- 図面は原本保管のため毎回コピーして出している。
- 現場保管の紙図面が適正に更新されているか不安。
- 図面だけでは情報不足なので「立体図」「曲げ断面図」「マンガ」を作業指示書や注文書に手書きしている。
- 現場で物を探している時間が以外に多い。(作業指示書に図面が貼り付いていればもっと早く見つかるのに…)
- 原本(電子図面)から加工図面、検査図面を作成したい。(紙図面に文字や図形を書き込み再スキャンしたのでは精細さに欠ける)
- 検査図面(電子図面)に検査結果を記録し工程間で共有したい。
- ISOで検査結果記入後の検査表や検査図面を適正に保管しなければならない。
- 図面、検査表、検査図面の収納・保管スペースに困る。

「画像モジュール+S」は、このような課題を解決する為に開発された製造業、特に金属加工業向けのファイル管理用パッケージ・ソフトウェアです。

〔導入効果〕

- 図面探しのムダ削減
- 図面コピーの手間削減
- 図面の適正な管理(旧版図面による不良発生防止)
- 加工図面の作成、検査図面の作成、検査記録の作成
- 図面、CADデータ、ドキュメント、デジカメ写真、動画等あらゆるデータの一元管理
- 図面等の保管スペース削減

特徴

■ ツリー構造での管理！

実際の製品構成と同じ“ツリー構造”で、1つの品番に最大16種類のデータを管理できます。

■ サムネイル表示！

サムネイル表示によって画像を開かなくても内容を判断できるシーンが増えますから、作業効率が劇的にアップします。

■ レイヤー編集！

5層のレイヤー編集と検査レイヤーの編集が行えます。

これにより、元図面を変更することなく、それぞれのレイヤーに図形や文字を載せ、元図面と5層のレイヤーを合成させた“図面”を作成することができます。例えば、レイヤー1に加工ノウハウを記載した“加工図面”、レイヤー2に検査指示を記載した“検査指示図面”を作成できます。

さらに受注出荷と連携することで、検査用レイヤーに検査結果を記入した“検査記録図面”を注文毎に保管することが可能になります。

■ ネットワーク対応！

データはデータベースで一元管理。

事務所パソコンで登録した画像を現場パソコンで表示・印刷できます。

■ 受注出荷モジュール+Mとの連携！

「受注出荷モジュール+M」と連携した利用が可能です。

- ・受注データのワンクリックで画像(図面等)を表示。
- ・作業指示書出力と同時に画像(図面等)を印刷。
- ・作業指示書の下半分や裏面に画像(図面等)を埋め込み印刷。
- ・不良情報入力時に不良個所のデジカメ写真などを登録。
- ・作業完了入力時に指示書、検査表、ミルシートなどを登録。
- ・検査図面に“検査結果”を記入し注文毎に保管。

■ タブレット端末連携！(オプション)(※)

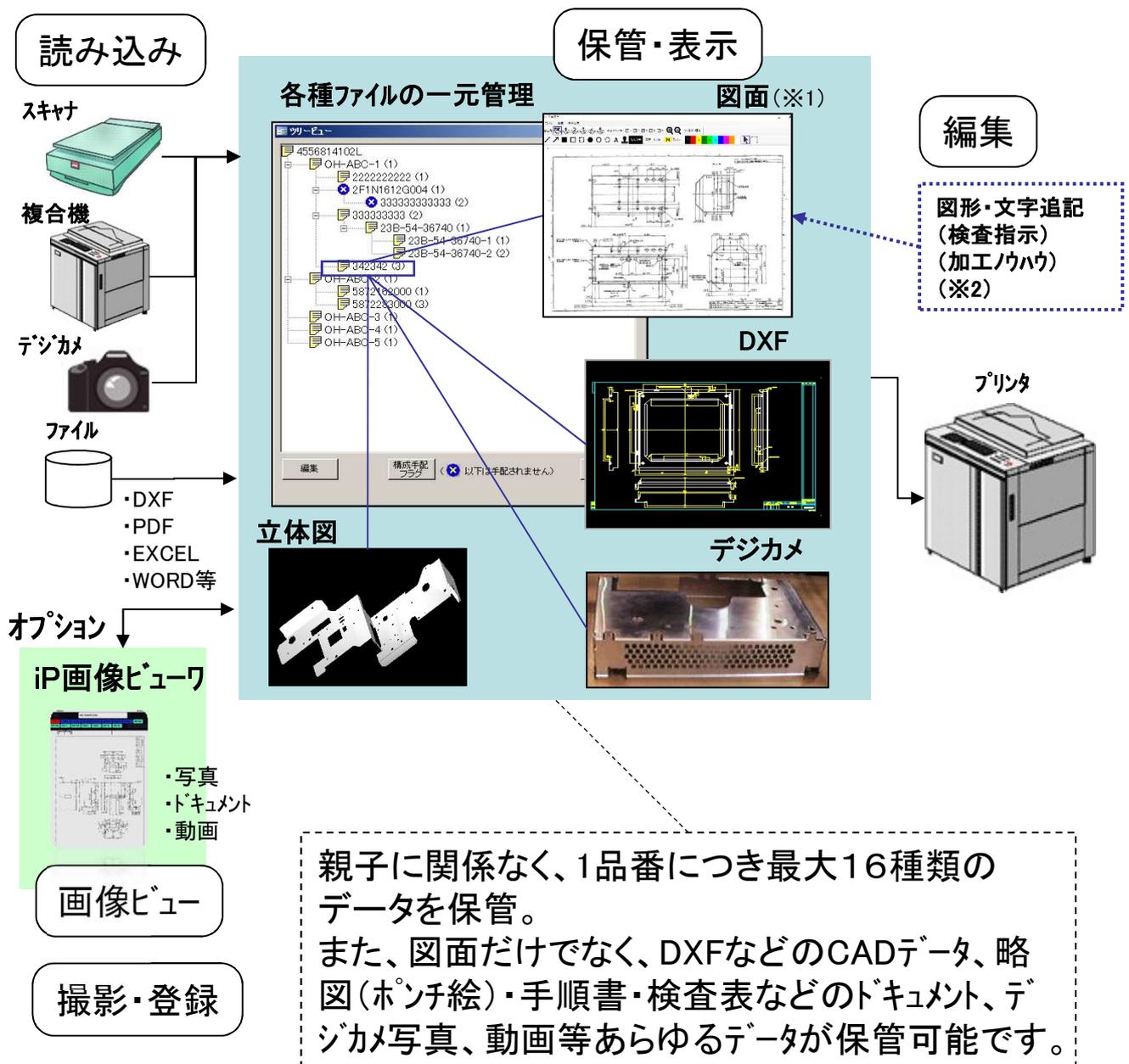
iP画像ビューワは、現場で(場所を選ばずに)図面など閲覧できます。

また、現場で撮影した画像(写真/ドキュメント/動画)をその場で登録することができます。

■ ツリー構造での管理！

実際の製品構成と同じ“ツリー構造”で、1つの品番に最大16種類のデータを管理できます。

これにより、親品番の組図は「溶接工程」へ手配、子品番の部品図は「NCT/レーザー工程」へ手配、が容易に行えます。



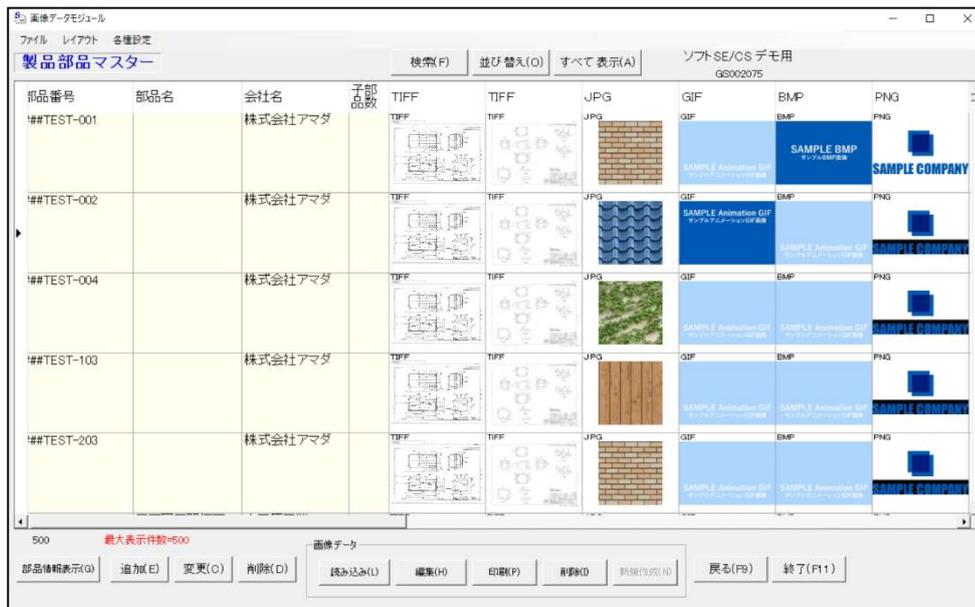
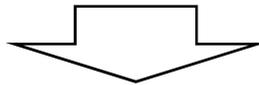
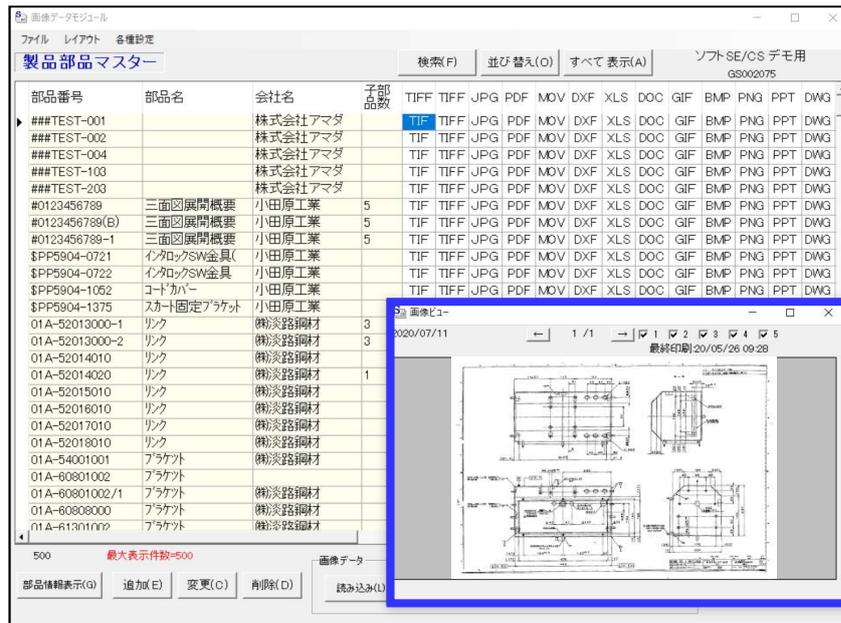
(※1) 図面ファイルはTIFF形式での保管を推奨しています。

(※2) 編集はTIFF形式の図面ファイルが対象です。

PDF形式の編集はAdobe Acrobat等の専用ソフトが必要となります。

サムネイル表示！

サムネイル表示が行えます。
 これにより、画像を開かなくても内容を判断できるシーンが増えますから、作業効率が劇的にアップします。



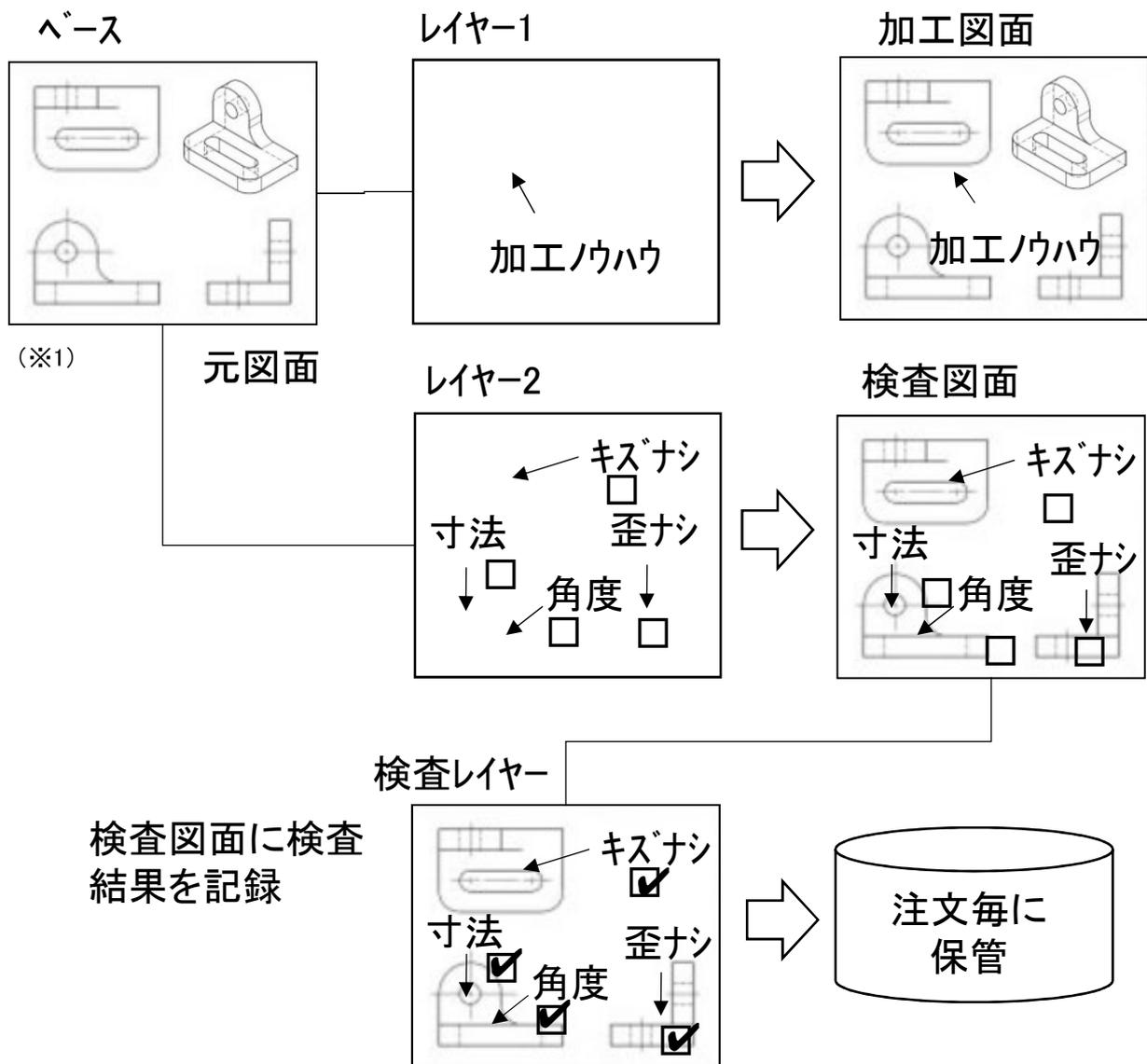
(※1)サムネイル表示可能なデータは、画像ファイル(TIFF、JPEG、GIF、BMP、PNG等)およびPDFファイルです。

■ レイヤー編集！

5層のレイヤー編集と検査レイヤーの編集が行えます。

これにより、元図面を変更することなく、それぞれのレイヤーに図形や文字を載せ、元図面と5層のレイヤーを合成させた“図面”を作成することができます。例えば、レイヤー1に加工ノウハウを記載した“加工図面”、レイヤー2に検査指示を記載した“検査図面”を作成できます。

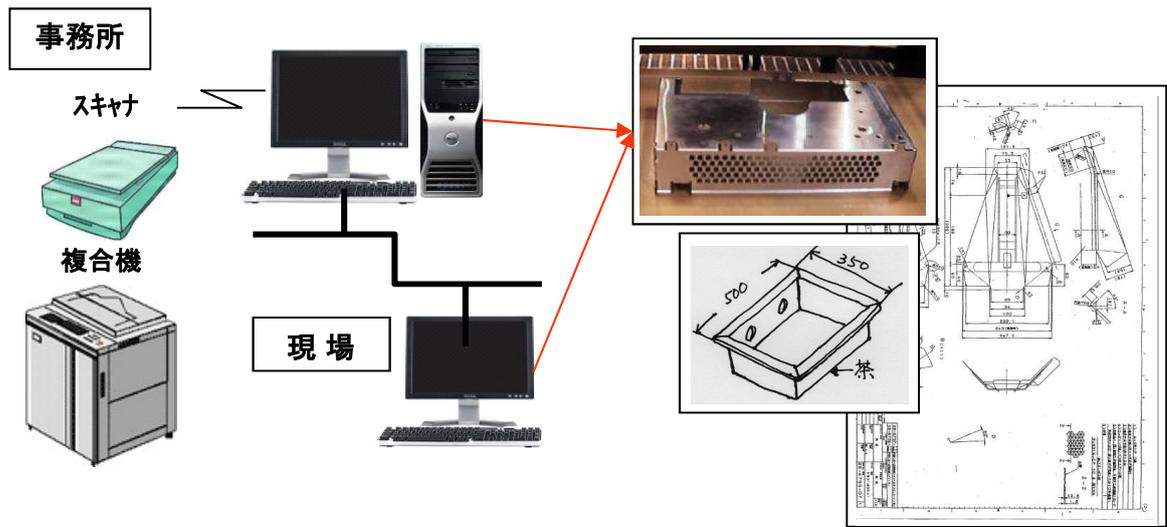
さらに受注出荷と連携することで、検査レイヤーに検査結果を記載した“検査記録図面”を注文毎に保管することが可能になります。



(※1)レイヤー編集可能な図面ファイルはTIFF形式です。

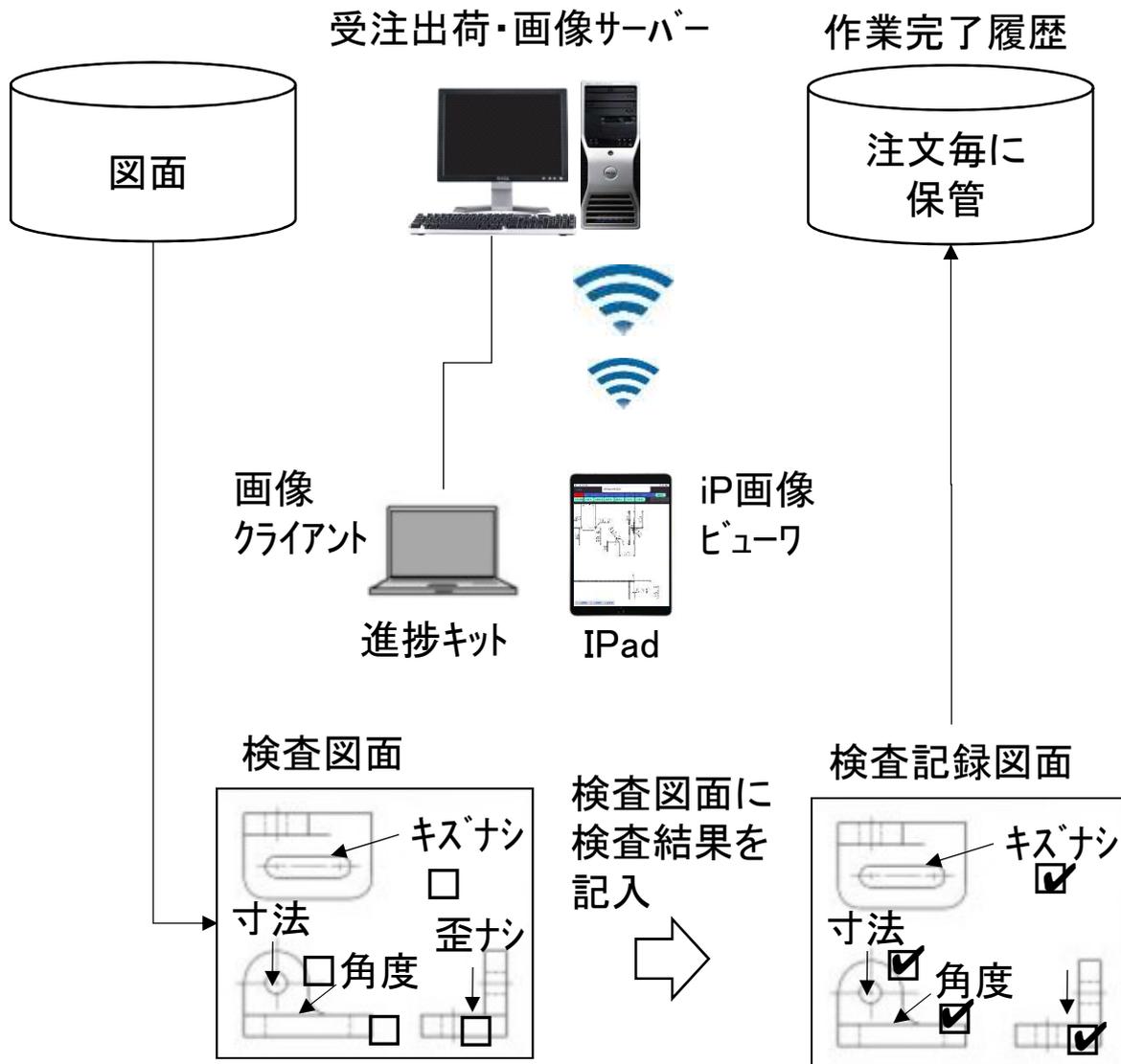
■ ネットワーク対応！

データはデータベースで一元管理。
事務所パソコンで登録した画像をネットワークを経由して
現場パソコンで表示・印刷できます。



■ 受注出荷モジュール+Mとの連携！

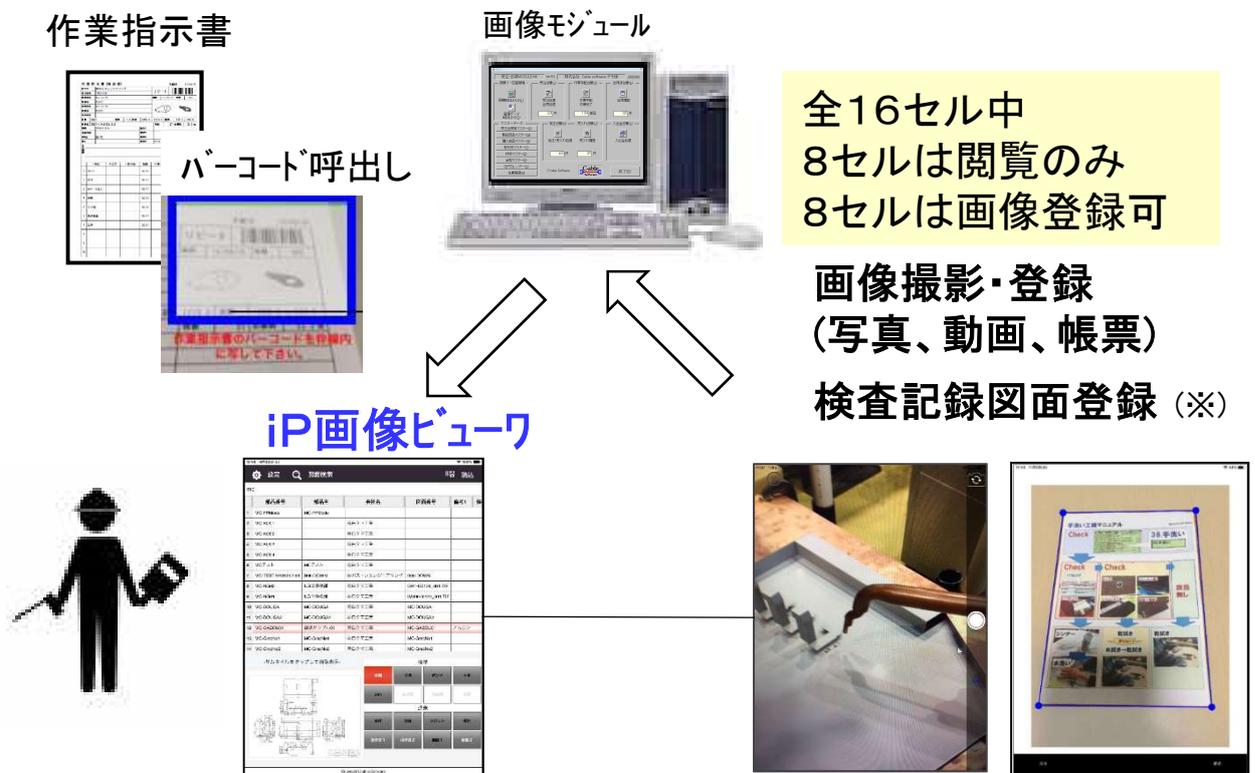
(6) 検査記録図面を保管・表示。



※検査図面はTIFF形式のみ

■ タブレット端末連携！（オプション）

iP画像ビューワは、現場で（場所を選ばずに）図面など閲覧できます。
 また、現場で撮影した画像（写真/ドキュメント/動画）をその場で登録することができます。例えばベテラン作業者が技術伝承の為に、段取・加工の注意点を撮影し、写真や動画で残すことが可能になります。
 さらに受注出荷と連携することで、検査レイヤーに検査結果を記載した“検査記録図面”を注文毎に保管することが可能になります。



■ 動作要件

iP画像ビューワは画像モジュールを必要とします。単独では利用できません。
 また画像サーバー環境にはサーバーOSが必要となります。

アプリ		iPhone	iPad	iPod Touch
iP画像ビューワ	Ver.4	○	○	○

・対応機種

Apple iOS13以降

- ・iPhone 6S (2015年) 以降
- ・iPhone SE (2016年) 以降
- ・iPad (2014年) 以降
- ・Pod Touch(7th) (2019年) 以降

■ ファイル形式

1品番に最大16種類のデータを格納できます。

格納できるファイル形式に制限はありませんが、複数ページ^(※1)で格納できるか、画像ビューで表示できるか、画像編集できるか、受注出荷の帳票に貼り付けられるか等々については制限がありますのでご注意ください。

種別	入力	ファイル形式	複数ページ (※1)	ビュー	編集 (※2)	帳票貼付け	備考
画像 ・図面 ・ポンチ絵 ・デジカメ写真	スキャナ /ファイル	TIFF	○	○	○(※10)	○	推奨
		JPEG GIF PNG	×	○	○(※10)	○	可
		BMP	×	○	○(※10)	△(※6)	可
CADデータ	ファイル	DXF DWG IGES STEP XVL	△(※3)	△(※7)	×	×	可
動画	ファイル	MP4 MOV	△(※3)	×	△(※8)	×	可
ドキュメント ・MS-Office ・PDF	ファイル	WORD EXCEL PPT	△(※3)	×	△(※9)	×	可
		PDF	△(※3)	△(※4)	△(※5)	×	可

(※1)複数ページとは、1つの格納エリアに複数の図面を格納できることを指します。

(※2)本格的な編集機能ではなく、図形や文字を記載できる簡易的な編集機能です。

(※3)画像モジュールではファイル生成できませんが、一般に1ファイル複数ページで構成されています。

(※4)画像モジュールでは表示できませんが、無償のAdobe Reader等で表示できます。

(※5)画像モジュールでは編集できませんが、Adobe Acrobat等の専用ソフトで編集できます。

(※6)ファイルサイズが非常に大きくなる為、推奨しません。

(※7)画像モジュールではDXFのみ表示できます。その他は各社から無償のビューソフトが提供されています。

(※8)Windows標準ソフトで再生できます。編集は専用ソフトが必要です。

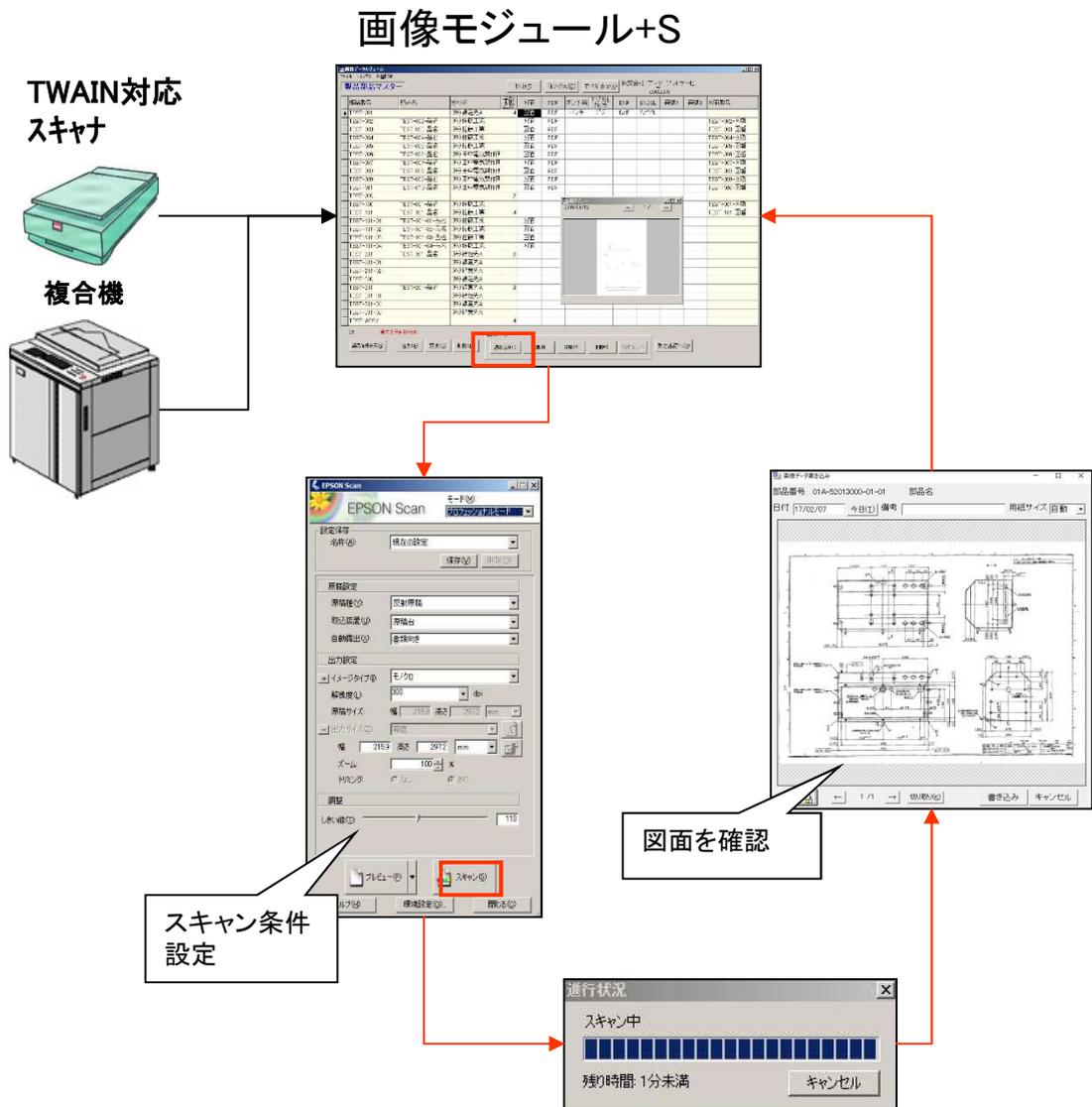
(※9)Microsoft Office製品が必要です。

(※10)レイヤー編集も可能です。

■ スキャナ入力

紙図面は、スキャナ/複合機でスキャンし、直接画像モジュールに入力します。

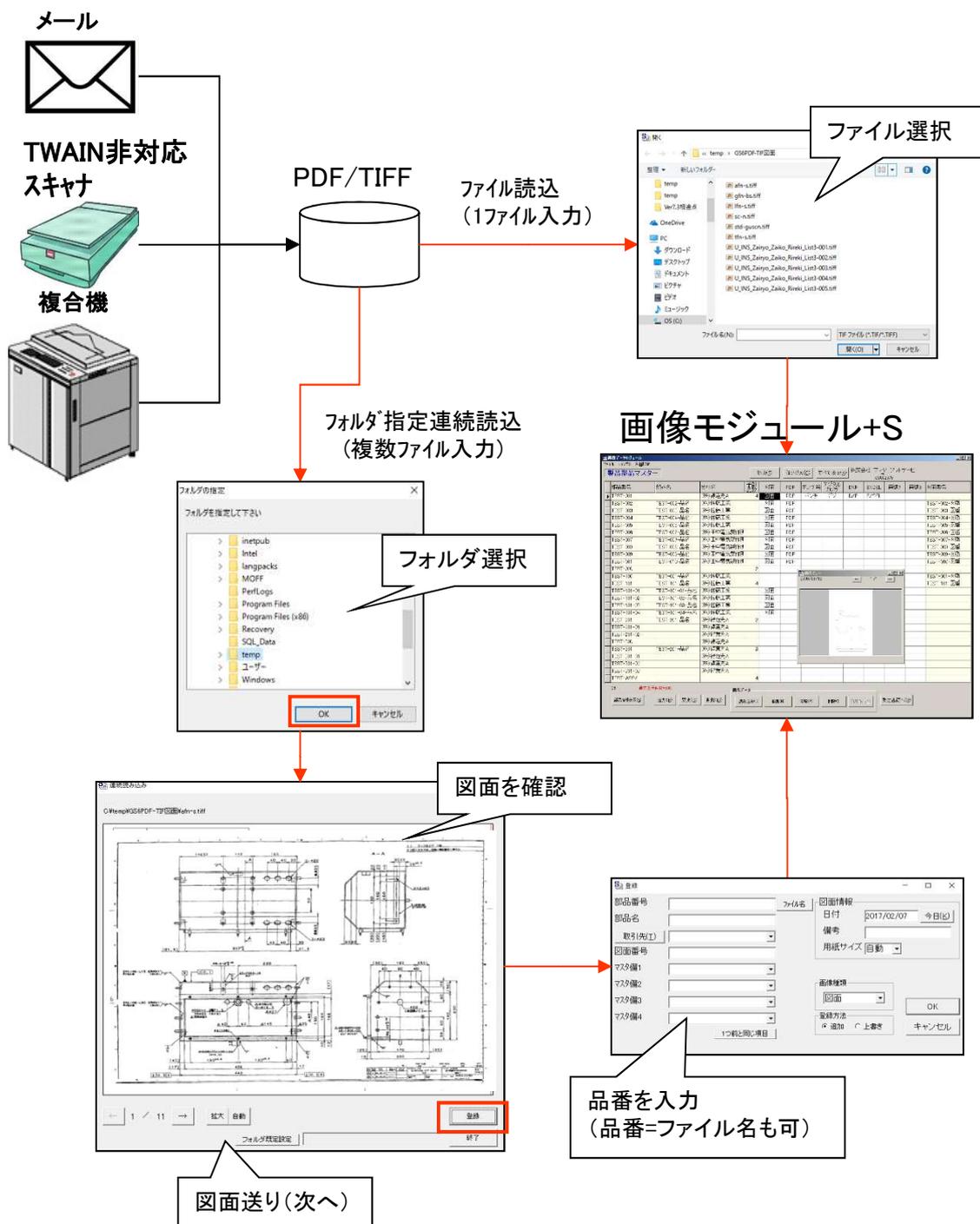
TWAIN(トゥエインと呼びます)対応のスキャナ/複合機であれば、画像モジュール側の操作で読み込みを開始できます。



■ ファイル入力

紙図面は、スキャナ/複合機でスキャンし、一旦パソコンの指定フォルダにPDF/TIFF等ファイルで保存し、その後、画像モジュールに入力します。

メール等で受け取ったPDF/TIFF等ファイルも同様です。



■ 印刷サイズ

特に図面の場合はA4ﾀﾞﾃ・A4ｺﾞ・A3ﾀﾞﾃ・A3ｺﾞ等がありますから、印刷設定に注意を払う必要があります。

画像モジュールは、共通(データ種類毎の印刷サイズ)設定と個別(品番毎の印刷サイズ)設定を持っています。

個別設定が「自動」であれば、共通設定で印刷されます。

個別設定が「自動以外」であれば、共通設定に関係なく、その印刷サイズで印刷されます。

これにより、通常はA4ｺﾞ図面だが、たまにA4ﾀﾞﾃやA3ｺﾞ図面もあるというケース等に柔軟に対応できる仕組みになっています。

(ただし、複数ページで格納した図面は混在サイズで印刷できません。)

画像1-8 画像9-16		日付	備考	サイズ
TIFF	TIFF	20/07/11		自動
TIFF	TIFF	20/07/11		自動
JPG	JPG	20/07/11		自動
PDF	PDF	20/05/21		自動
MOV	MOV	20/07/11		自動
DXF	DXF	20/05/21		自動
XLS	XLS	20/05/21		自動
DOC	DOC	20/05/21		自動



■ 従来版とドットネット版

画像モジュールは「従来版」と「ドットネット」版の2タイプあります。混在利用は出来ませんので、どちらかをセットアップしてください。

項目	従来版	ドットネット版
管理種類	8	16
サムネイル表示	×	○
レイヤ編集	×	○
検査結果記録	×	○
iP画像ビューワ対応	×	○

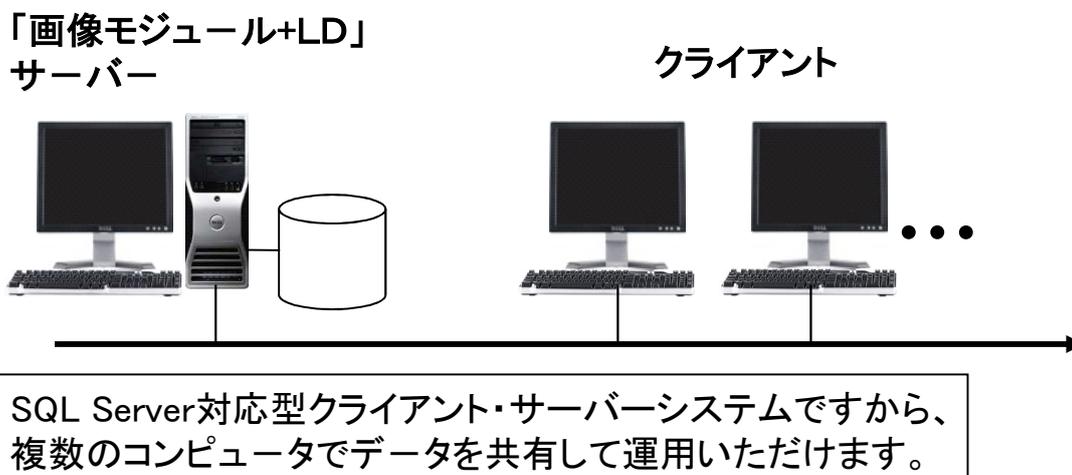
従来版

名前	発行元	インストール日
ESMPRO/ServerManager Ver. 5.3		2021/11/09
ESMPRO/ServerAgent	-	2011/08/31
画像データMODULE+S	(株)ケーブルソフトウェア	2022/03/17
SQL_Data	(株)ケーブルソフトウェア	2022/03/03
受注出荷MODULE+M	(株)ケーブルソフトウェア	2022/03/03

ドットネット版

名前	発行元	インストール日
画像データMODULE+S(DN4)	(株)ケーブルソフトウェア	2022/03/01
ip進捗	(株)ケーブルソフトウェア	2019/10/08
iPタスクビューワ	(株)ケーブルソフトウェア	2021/06/08
受注出荷進捗キット	(株)ケーブルソフトウェア	2021/12/21
SQL_Data	(株)ケーブルソフトウェア	2022/03/01

■ クライアント・サーバーシステム



必要なシステム構成

〔サーバー〕

- Windows Server 2016 (64ビット) 以降のOS
- Celeron以上 (推奨Xeon) のCPU
- 4GB以上 (推奨16GB以上) のメモリ
- Microsoft SQL Server 2016以降 (無償版 : EXPRESSも利用可)

〔クライアント〕

- Windows10以降 (推奨Pro64ビット) のOS (homeも利用可)
- Celeron以上 (推奨Core i5以上) のCPU
- 4GB以上 (推奨8GB以上) のメモリ

〔共通〕

- 100GB以上のハードディスク空き容量
- 1366x768以上 (推奨1920x1080以上) のグラフィック
- インターネット接続環境



(注1) Windows Server 2016 (64ビット) 以降のOS

- ・小規模であればWindows10 Pro以降 (推奨64ビット) のOSでも利用可能です。
(詳細は弊社HPに掲載している「WILL 導入要件/推奨ハード 説明書」を参照のこと)

(注2) Microsoft SQL Server 2016以降

- ・無償のExpressと有償の製品版 (Standard) があります。
- ・Expressは使用メモリが1GBに制限されますから「メモリ使用量が増加する」とスピードが低下します。
- ・メモリ使用量が1GBを超えたら、製品版 (Standard) の導入をお勧めします。
 - ・OSは64ビットであること。
 - ・製品版 (Standard) 導入時は十分な物理メモリを実装すること。(16GB以上を推奨)
- ・製品版 (Standard) のサーバー/CALライセンス版では、サーバーライセンスだけでなく、クライアント数分 SQL Server CAL (クライアントアクセスライセンス) が必要となります。